

もりよし荘だより

# かけはし

## No. 15

平成30年4月1日

編集・発行

〒018-4301

秋田県北秋田市米内沢字七曲25番地

(社会福祉法人 交楽会)

介護老人保健施設 もりよし荘

TEL. 0186-72-5030 FAX. 0186-72-5017

http://www.akita-kouraku.jp/



ひな祭りは童心に戻れる特別な1日。  
いくつになっても嬉しいものです。  
秋田の春もすぐそこに...

### 居宅介護支援事業所だより

もりよし荘居宅介護支援事業所の庄司です。在宅生活や介護認定の相談、介護保険以外のサービスについてのお問い合わせにも対応しております。

平成30年度の介護報酬は、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向けて、国民一人ひとりが状態に応じた適切なサービスを受けられるよう介護の体制整備を推進したのようになっていきます。

④制度の安定性・持続可能性の確保を目指した「介護サービスの適正化」

という4つの基本的な考え方を軸に改定が展開していきます。

皆さんが住みなれた地域で安心して生活を送れるようお手伝いさせていただきます。もりよし荘事務所のお立ち寄りの際の相談でも構いません。気軽に声を掛けください。

【もりよし荘居宅介護支援事業所】  
Tel. 0186725033 庄司信子

### 24時間テレビチャリティー福祉車両贈呈

昨年8月に放送された「福祉車両贈呈式」が24時間テレビ愛が行われ、A B S秋田は地球を救う」を中心とした放送24時間テレビチャリティー委員会委員長より、福祉車両180台が立田聡様より贈呈状が全国の団体・個人に贈呈されました。

秋田県ではリフト付きバス1台が当施設へ贈呈されました。

1月31日に秋田放送



贈呈された福祉車両

#### 寄付・善意

- |         |         |
|---------|---------|
| 竹田 勇人 様 | 磯谷 文雄 様 |
| 羽場 確延 様 | 藤原 潤悦 様 |
| 成田 五郎 様 | 栗原 保幸 様 |

### 編集後記

冬の寒さも和らぎ、秋田にも少しづつ春の足音が聞こえてきました。

▼今年は東京や関西方面でも雪が降り、秋田県も県南の方では豪雪となり、全国ニュースになるくらいの積雪でした。

▼そんな中、全国民が睡眠時間を削りながら熱狂したのが平昌オリンピックではないでしょうか。

▼もりよし荘の利用者もテレビに釘付けになって、日本選手に声援を送っておりました。

▼私自身も、自宅で父親と一緒にカーリング女子だけは見逃すことなく応援しておりました。「そだねー」と試合中盤の「もぐもぐタイム」には仕事の疲れが吹き飛ばすほど癒されました。

▼相撲界の暗いニュースが飛び交う中での日本選手団の活躍は、たくさんの方の勇気と感動を与えてくれました。本当にお疲れ様でした。

(T・A)



12月クリスマス会が各ユニットで行われた。全国的に流行している感染症の予防の為、全体的なクリスマス会は行わず、各ユニットで趣向を凝らしたクリスマス会が行われた。クリスマスにちなんだお菓子をスプーンで自由にすくい取って選んだり、サンタに扮した職員からプレゼントを受け取ったりされていた。お菓子のすくい取りを行う利用者の中にはお菓子を入れる

## 待ちに待ったクリスマス

～サンタからのプレゼント～



お菓子を自由に選ぶ利用者

入れ物が一杯になってもまだ入れようとして奮闘されている方もいて目一杯クリスマスを楽しまれている様子であった。



プレゼントを受け取る利用者



利用者の皆さんの力作

## 書初め 「一筆入魂」



1月上旬、リハビリの一環として書初めが開催された。今年は言葉だけでなく思いの給も添えられた。皆、昔を思い出しながら、一筆一筆に魂を込め、思い思いの言葉や絵を書き上げた。自分の作品に納得がいかず、「もう一枚だけ、



真剣な表情の利用者

書いてもいいいべか？」と納得がいくまで書こうとする利用者も見られた。



利用者からの声援を力に頑張る職員

## 大きな声で「よいしょ！」

12月28日、もりよし荘でもちつき会が開かれ、昔ながらに臼ときねを使ってついた餅をお汁粉にして味わった。施設では一年の最後を締めくくる恒例行事で多くの利用者がホールに集まった。餅つきは職員に利用者から大きな声で「よいしょ」「もつと腰を入れて」と声援が送られた。例年の行事で慣れた手つきの職員が掛け声に応えてきねを一生涯懸命ついていた。

## 雛人形へ思いを馳せる

「童心を思い出しながら」



思い出話を語りながらひな壇の飾り付け

3月3日のひな祭りを前に、例年よりも早くももちろんのこと、入所されりよし荘でもひな人形の飾り付けが行われた。童飾られるのを心待ちにされた心へ帰った女性利用者が、次から次へと鑑賞主となって「今はこんな豪華なひな飾りがあるんだもんね」、「ひし餅嬉しい」、「いくつになっても女だもの」と、和気あいあいと話されていた。男性利用者は「腹いっぱい美味しいもの食べられる日だな」と笑っていた。

## 大きな掛け声 元気に豆まき

「無病息災」

もりよし荘での毎年の恒例行事となつている節分の豆まきが、2月3日に各ユニットで行われた。それぞれのユニットで趣向を凝らし、鬼に扮装した職員に向かって「それ、鬼は外！福は内！」と、自らの邪気を払い、無病息災を願いながら元氣よく皆で豆をまいた。



満面の笑顔で豆まきを楽しむ利用者

## 清々しく新年を

初日の出と共に新年を迎えた1月1日、もりよし荘の各ユニットでは、それぞれ特色のある「新年会」が行われた。お正月らしく温



手作りの神社で初詣気分

かいお汁粉に和菓子を囲んで、利用者の皆さんそれぞれが新しい1年の始まりに思いを馳せながら「春になったら家に帰りたいなあ」、「やっぱり健康が一番だ」と語り合っていた。



無心で引くおみくじの結果は…

## 笑顔をお届けに

10月3日、比内支援養護学校中等部の生徒さん達との交流会が開かれた。元気に踊りや歌を披露する姿を



大人顔負けのパチさばき



久しぶりの再会で満面の笑顔

見て、「うまくなったなあ」と、拍手と歓声が飛び交う楽しいひと時だった。